

SPECIAL
INTERVIEWThe
Beguiled

O O

E A T

COMCAST

A Woman's Point of View

写真: Getty Images

『ビガイルド』がカンヌで監督賞!

ソフィア・ Coppola

「私が属する35億人の視点」

巨匠フランシス・フォード・ Coppola監督の娘で、アカデミー賞脚本賞を受賞した『ロスト・イン・トランスレーション』などの作品で知られるソフィア・ Coppola監督。

最新作『The Beguiled/ビガイルド 欲望のめざめ』が、第70回カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞した。

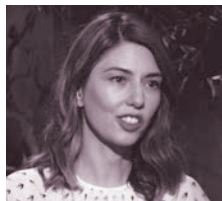
原作の小説は、1971年にクリント・イーストウッド主演で『白い肌の異常な夜』として映画化されたが、

今回、彼女は新たなアプローチで作品を作り上げた。作品だけでなく、ファッションアイコンとしても世界中で

支持されている Coppola監督が、今作に込めた思いや女性をテーマに映画を撮り続ける理由などについて語ってくれた。

■ソフィア・ Coppola

米国の映画監督、プロデューサー、脚本家、女優。父親は映画監督のフランシス・フォード・ Coppola。1998年、短編映画『リック・ザ・スター』を監督、'99年『ヴァージン・スーサイズ』で長編監督デビュー。2003年公開の『ロスト・イン・トランスレーション』でアカデミー賞の脚本賞やゴールデングローブ賞作品賞や脚本賞などを受賞し、一躍注目の女性監督となる。1971年、ニューヨーク市生まれ。



87 カンヌ映画祭で女性として史上2人目の監督賞受賞

Interviewer Congratulations, first of all, on the Best Director award at Cannes. And I know you've said it's incidental, in a way, to you that you're the second female in 70 years, but I think for the rest of the industry, it's momentous, actually. And also a little bit shocking?

Sofia Coppola I was really shocked when I heard that. And it's sad to think that, you know, of that long history, so few women. But I'm proud in...to have that award, and I felt so many women—friends and artists—enjoyed the success of that with me, so it was really nice.

Interviewer We still have this situation where directors and people in the film industry like yourself—females—are just reaching milestones, that there are momentous things still happening. It just struck me as really a little bit sad that we're still talking about these things, in a way, you know?

Best Director award at Cannes:

カンヌ国際映画祭監督賞

▶フランス政府主催のカンヌ国際映画祭は世界で最も有名な映画祭の一つで、昨年70回目を迎えた。女性監督が監督賞を受賞するのは、ソ連のユリア・ソーンツェワ監督（『戦場』）以来56年ぶり。

incidental:

付随的な、二次的な

in a way:

ある意味で

momentous:

重大な、重要な

few:

少ない、ほとんどない

be proud to do:

〜できて光栄である、〜することを誇りに思う

enjoy:

〜を楽しむ、喜ぶ

the film industry:

映画業界、映画産業

reach a milestone:

重要な節目に到達する、金字塔を打ち立てる

it strikes A as B that:

〜ということはAにBだと印象付ける、思わせる

インタビューー まずは、カンヌ国際映画祭監督賞、おめでとうございます。映画祭70年の歴史の中で女性として自分が2人目の監督賞受賞者となったのは、ある意味、付随的なことだ、とおっしゃったのは存じていますが、私が思うに、映画界全体にとってこれは実は、記念すべきことです。それに、少し驚きでもありますよね。

ソフィア・Coppola 確かにそう聞いたときは驚きました。それに寂しいです、カンヌの長い歴史の中で（監督賞を受賞した）女性がほとんどないことを考えると。ですが、賞をいただけたのは光栄なことですし、多くの女性が——友人やアーティストが——私と一緒にこの成功を喜んでくれたので、とてもうれしく思います。

インタビューー 監督をはじめとする映画業界におけるあなたのような方が——つまり、女性が——やっとなんと金字塔を打ち立て、いまだに（女性による）記念すべきことが起きているような状況にあるわけです。いまだにこういうことが話題になるといって自身が、ある意味、本当に少し寂しい気がするのですが。